

六代会長に安藤吉人氏

6 月 20 日 会長就任奉告祭



発行
天理教本愛大教会

〒 453-0821
名古屋市 中村区 大宮町 1-60
TEL (052) 461-4326
MAIL mail@hon-ai.org
〒 632-0071
奈良県 天理市 田井庄町 19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広 報 部



大教会の六代会長に安藤吉人氏（37歳）が就任する。吉人氏は今月26日、本部教祖殿にて理のお許しを頂く。六代会長就任奉告祭は6月20日に執行される。

安藤吉人氏略歴
昭和 58 年生まれ。平成 14 年おさづけの理拝戴。18 年天理大学卒。同年教人登録。20 年天理教校本科研究課程修了。21 年本部青年。22 年青年会本部委員、28 年同委員長。

六代会長就任奉告祭
6 月 20 日 執行

活動目標
喜びの旬
おたすけの日々
楽しみの道

平成 5 年に安藤正治五代会長が就任してから 28 年。新たに安藤吉人氏が六代会長に就任する。

大教会の会長交代は、長らく先代の身上や出直がきつかけとなつて行われてきた。前会長と新会長が共に健康で交代を迎えるのは、初代会長から二代会長への交代のとき以来、実に 85 年ぶりのこととなる。世の中が混迷を深め、当

たり前だったことが当たり前でなくなる今の時代だからこそ、当たり前なようにいて、なかなかお見せいただくことのできなかつたこの姿をお見せいただけることを、共に喜ぶたい。

6 月 20 日には六代会長就任奉告祭が勤められる。新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、参拝の形式は未定となつているが、私たち本愛ようぼく一人ひとりが、この旬を迎える喜びを胸に、心を一つに合わせていくことが大切である。ともに勇み心でおたすけの日々を歩ませていただく。

第 958 期 修養科生大募集

〈面接〉 ☆日時… 3 月 25 日 午後 1 時
☆場所… 本愛詰所

3 月 20 日までに神殿事務所へお申し込みください。

3 月のこよみ

入社祭・春季霊祭	1 日 午前 10 時
教会長連総会中止	
よふき会例会	2 日 午前 10 時
女子青年例会	7 日 午前 9 時 50 分
月次祭	13 日 午前 10 時
青年会例会	13 日 午前 10 時
布教実修所	14 日 午前 10 時
ほんあい O K E I K O	18 日 午後 4 時 30 分
むつみ会例会	16 日 午前 10 時
こども食堂 M O G U	17 日 午後 5 時
婦人会例会	20 日 午前 10 時
道の学生おぢばがえり	20 日 午前 10 時
少年会本愛団第 51 回総会	21 日 午前 10 時
こはる会例会	24 日 午前 10 時
修養科志願者面接	25 日 午後 1 時
（於 本愛詰所）	
本部月次祭	26 日 午前 9 時
道の学生	28 日 午前 10 時
オンラインの集い	

立教184年春季大祭講話要旨

本部長 松村義司 先生

本愛大教会の春季大祭が勤められる、この1月13日はとても大切な日です。明治20年1月26日に至る一連の流れの中で、教祖と人々との間で大事な話し合いのあった日が13日です。

これは教祖の道を聞き分けて通る者しか頂戴することのできない、本当にたすかる安心の道です。この道を通らせていただき、また通れるように人を導かせていただくのです。

よろづたすけの元、おつとめを必ず勤めるという心を定め、人間思案に惑わされず、神様の仰せに素直に通る決意をされた日です。この定めた心を実行されたのが1月26日で、それこそ命をかけて、おつとめを勤められたのです。

そのために自分自身も成人する努力をし、また相手にもそうなってもらえるよう、しっかりとお世話取り、丹精をさせてもらうことが肝心です。

■親身のお世話取りを
おかきさげに「人を救ける心は真の誠一つの理で、救ける理が救かる」とお聞かせください。

教祖のおたすけを考えたとき、教祖はとにかく徹底的にお世話をされた。親身になって、どんな人でもお世話されました。これが一番の元だと思えます。

神様の大きなお働きがあつて、たすけていただけ

私自身もいろんな方にお世話してもらつて、こころで育ててもらいました。小さい頃は、母や周囲の方々に、また信仰的には真柱様

にも育てていただきまし。いろんな人に親身に育てていただいたのが、私の信仰の元だと思ふんです。

おさしづに「人の心養うように、優しいなあと云うは世界の台」（明治33年5月16日）と聞かせていただきます。まずは優しく、母親が子供を想うような、教祖が子供を想うような心で、私たちも周りの人を親身に世話をさせていただくことが、教祖のひながたの第一歩だと思ふます。

■おたすけから丹精へ

おたすけは、親身に世話をし、それで終わりではありません。その場の苦しみをたすけるだけでなく、相手に心を切り替えてもらうことで、人生の歩み方を変えていく。それによって、運命を変えてもらい、陽気ぐらしをさせていただけ教えなのです。

そのおたすけは、お道の

おたすけ人しかできません。親身のお世話はお道の人でなくてもできるし、現にやっている人もいます。だけれどそこから先は我々にしかできない。親神様・教祖のご存在を伝え、心一つの使い方、持ち方で陽気ぐらしかできるということが教えていくのが、私たちの大事なつとめです。

ただ見て、やっともものになつていった。丹精というのは時間もかかるし、手間もかかる。教祖もそういう丹精をしてくださつた。ただ見守るだけではなく、よく心を見て、ときどきの諭しもし、お世話も、一緒にひのきしんもして育てるのが、本当の丹精だと思います。

まずにをいがけ・おたすけをし、またお世話取りを一生懸命させてもらう。その後もしっかりとお世話取りを続け、丹精させてもらうことが大切です。これを忘れては、人は育たないと思ふます。

高安の入信の初代、松村

伏せ込みも、またにをいがけ・おたすけも、必ず戻くせば実を返してください。コロナの節だから何もできないということは決してありません。教祖の道の跡を伝う者として、何をするかを考えて、務めていただくたいと思ふます。

さくは熱心に信仰しますが、その子供で教会を設立した松村吉太郎は、最初はお道に大反対だった。それが話を聞かされ、自分が身上になり、はじめて信仰する気になった。そこから教祖や初代真柱様にご丹精い

本愛大教会は、3月に會長の交代という大きな喜びの旬を迎えます。この旬を活かすには、たすけ心をどう尽くしていくか。このことも忘れずに、旬を活かしていただきたいと思ふます。

(文責・広報部)

教理随想

言わん言えんの理を探る



いよいよ今月二十六日、大教会長の理が五代から六代へと継承されます。この旬を機に本愛の教線が大きく伸展することが期待されますが、植物の場合を考えてみると、枝葉が栄えていくためには、根がしっかりと地中に張っていることが何より重要です。それと同じで、本愛が将来へ向けて発展していくためには、本愛のようによく一人一人が、先祖の教えと初代会長様の精神を胸に刻み、「報恩」という信仰の根を我が心に改めて張り直す努力が肝腎で

健康が保たれる。このことをしっかりと意識して親神様に感謝する心が、かりもの恩に報いるための一番の心がけです。また自分の夫や妻、兄弟姉妹、子供など、身近にいる人々にも恩を感じる生き方が大切だとも教えられています。

第二には、「火水風の恩」です。どれほど精巧な体でも、水や空気や熱といった環境が整わなければ生きていくことはできません。この恵みをもたらしてくれる太陽、雨、雪という自然の働きに対して感謝を捧げる心が大切です。

第三は「親と先祖の恩」です。人間は誰一人として親から生まれてこない人はいません。またいつの時代も親は無限の愛情を注いで子供を育てるものです。

一方の子供は、親がどんな状況や心境で育ててくれたのかを覚えていませんから、うっかりすると自分の力だけで成長したように思い誤り、恩に感じる心や感謝を忘れてしまう。そんなと親と先祖の恩が、自分の魂に積り重なってしまいます。世間でしばしばみられる家庭問題の根本原因はここにあるといってもいいのではないのでしょうか。

六代会長就任奉告祭を目前に控えた今日、本愛ようぼくは信仰の形や姿ではなく、信仰の心の向きをもう一度見直し、ここで先人が歩んだ「報恩の信仰」に立ち返っているかを省みながら、喜びいっぱいの中で「喜びの旬」を迎えようではありませんか。

【第 75 回】

ほこりを払い感謝を深めて 報恩の信仰を実践する旬

第三は「親と先祖の恩」です。人間は誰一人として親から生まれてこない人はいません。またいつの時代も親は無限の愛情を注いで子供を育てるものです。

一方の子供は、親がどんな状況や心境で育ててくれたのかを覚えていませんから、うっかりすると自分の力だけで成長したように思い誤り、恩に感じる心や感謝を忘れてしまう。そんなと親と先祖の恩が、自分の魂に積り重なってしまいます。世間でしばしばみられる家庭問題の根本原因はここにあるといってもいいのではないのでしょうか。

このように神恩を三つに分けて思索し反省することで、ご恩報じの足りなさに

■一寸のほこりが

第三は「親と先祖の恩」です。人間は誰一人として親から生まれてこない人はいません。またいつの時代も親は無限の愛情を注いで子供を育てるものです。

一方の子供は、親がどんな状況や心境で育ててくれたのかを覚えていませんから、うっかりすると自分の力だけで成長したように思い誤り、恩に感じる心や感謝を忘れてしまう。そんなと親と先祖の恩が、自分の魂に積り重なってしまいます。世間でしばしばみられる家庭問題の根本原因はここにあるといってもいいのではないのでしょうか。

このように神恩を三つに分けて思索し反省することで、ご恩報じの足りなさに

1月のおさづけの理拝戴者

本一宮(本尾州) 山内佑芽奈

以上1名

1月の初席者

本晃(本晃道) 三尾 則明

本正道 森山 直子

以上2名

事情おはこび

(令和3年2月26日付)

本良心分教会

◎任命願

長良英男氏が会長の理のお許しを戴いた。



長良英男氏

(長良氏の略歴)

昭和38年2月22日生まれ
昭和57年1月10日おさづけの理拝戴

令和元年6月29日教人登録
(奉生喜) 令和3年4月11日

陽気ぐらしのキーワード



感謝
慎み
たすけあい



お詫びと訂正

2月号4頁掲載の立教183年教務統計において、誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。正しい数は以下の通りです。

初席者

本知1 合計31

おさづけの理拝戴者

本築2 本宏1 合計16

修養科修了者

本築1 合計7

教務部

大教会日誌

令和3年1月25日～令和3年2月24日

1月

26日 本部春季大祭

12日 常任役員会議

28日 婦人会創立記念の日

13日 月次祭

こはる会初例会

祭主・大教会長 扨者・筑紫英一、大倉光晴

31日 常任役員会議◇役員会議

指図方・板山公司 賛者・安井 篤、久保眞樹

◇大教会長挨拶

2月

1日 入社祭

青年会例会

祭主・大教会長 扨者・都築隆道、加藤成幸

15日 ほんあいOKEIKO

指図方・佐藤幸夫 賛者・塚原光男、野田正樹

16日 むつみ会例会

2日 よふき会例会

17日 こども食堂MOGU (参加者40人)

おつとめ・十二下りてをどり

18日 こはる会例会

7日 女子青年例会

20日 婦人会例会